

Oracle Java SE 8 公式アップデート終了の対応について

概要

Oracle 社から提供されている Java SE 8 の公式アップデートが 2019 年 1 月に終了いたしました。これにより弊社製品をご利用のお客様は、対応が必要となる場合がございます。本コンテンツの内容をご確認いただき、対応のご検討をお願いいたします。

Oracle Java SE 8 公式アップデート終了による影響

Oracle Java SE 8 公式アップデート終了後は、セキュリティ脆弱性対策などのアップデートを無償で利用できなくなります。

お客様によるご対応

弊社製品をより安全な環境でご使用いただくためには、Oracle 社とサポート契約を結んで頂き、最新の Java SE 8 をシステムコンソール(コンソール端末用 PC)にインストールして頂く必要がございます。サポート契約の詳細については Oracle 社ホームページをご覧ください。

BS2000 E55A1/E55A2/E57A2/E57E2/ E57A1/E57E1 モデルでは、Oracle Java を使用していないリモートコンソールアプリケーション(Reclient)をご利用いただくようお願いいたします。

BS500/BS2500 では、OpenJDK をインストールした場合の動作も確認しております。OpenJDK をインストールされる場合、システムコンソールの構成および操作方法など従来と異なる部分がございます。詳細は弊社 Web サイトにある「BladeSymphony BS500 リモートコンソールユーザーズガイド」または「BladeSymphony BS2500 スタートアップガイド」をご参照ください。

対象製品

製品名(*1)	モデル名
BS320	C51A6/C51R6/C51H6/C51S6/C51P6 モデル(*2)
BS2000	E55A1/E55A2/E57A2/E57E2/ E57A1/E57E1 モデル(*3) E55R3/E55S3/E55R4/E55S4 モデル
BS500	全モデル
BS2500	全モデル

(*1)BS1000 は全モデル対象外です。

(*2)本記載以外のモデルは Oracle Java を必要としないため対象外となります。

(*3)リモートコンソールアプリケーション(Reclint)を使用している場合は対象外となります。

更新情報

2019 年 1 月 新規作成

2019 年 4 月 「概要」「お客様によるご対応」を更新

・本ページで記載している内容を予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

・Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。